

調査の結果

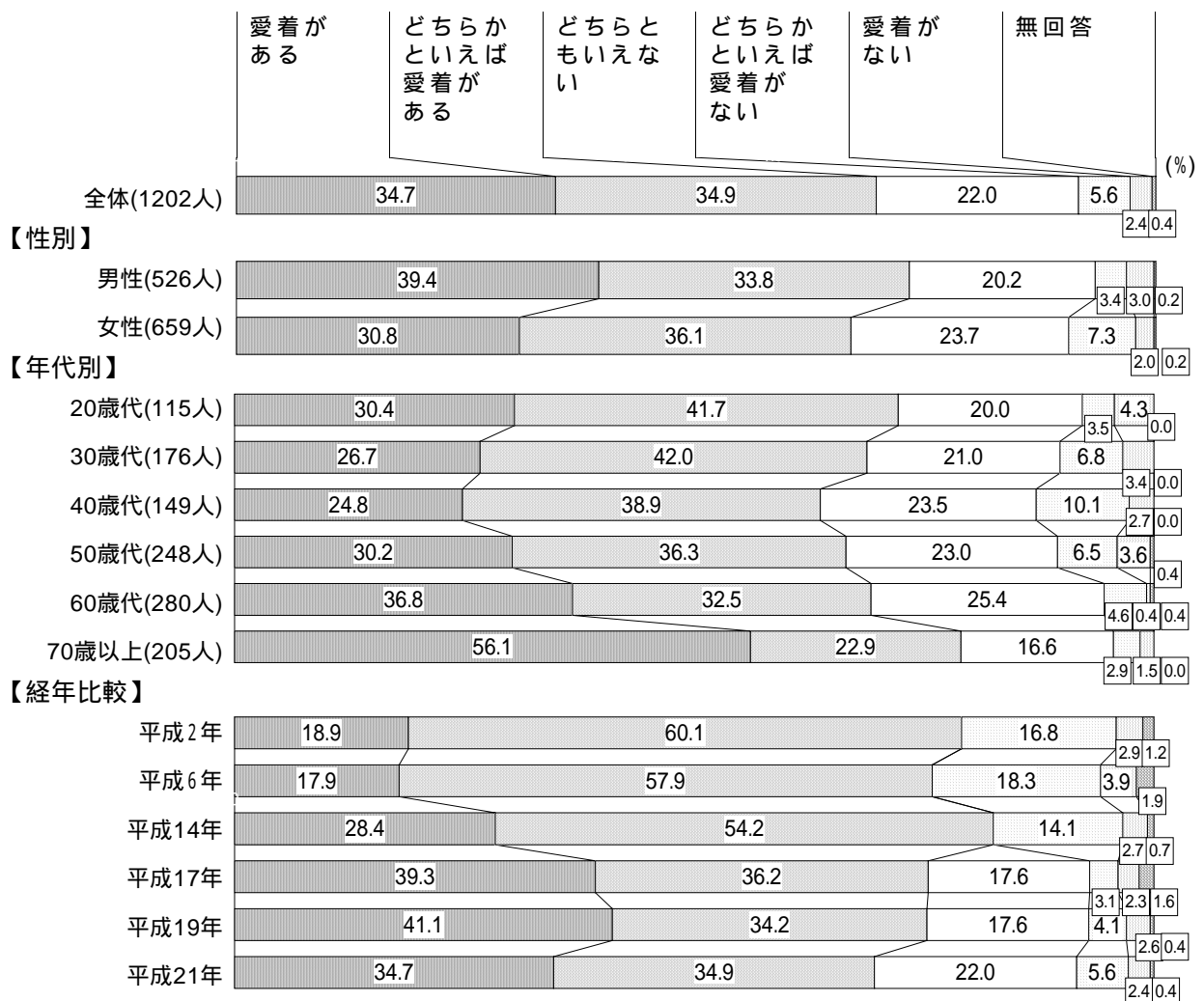
1. まち全体の印象について

1-1. 東松山市への愛着

“東松山市に愛着を感じている” 69.6%

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

東松山市への愛着



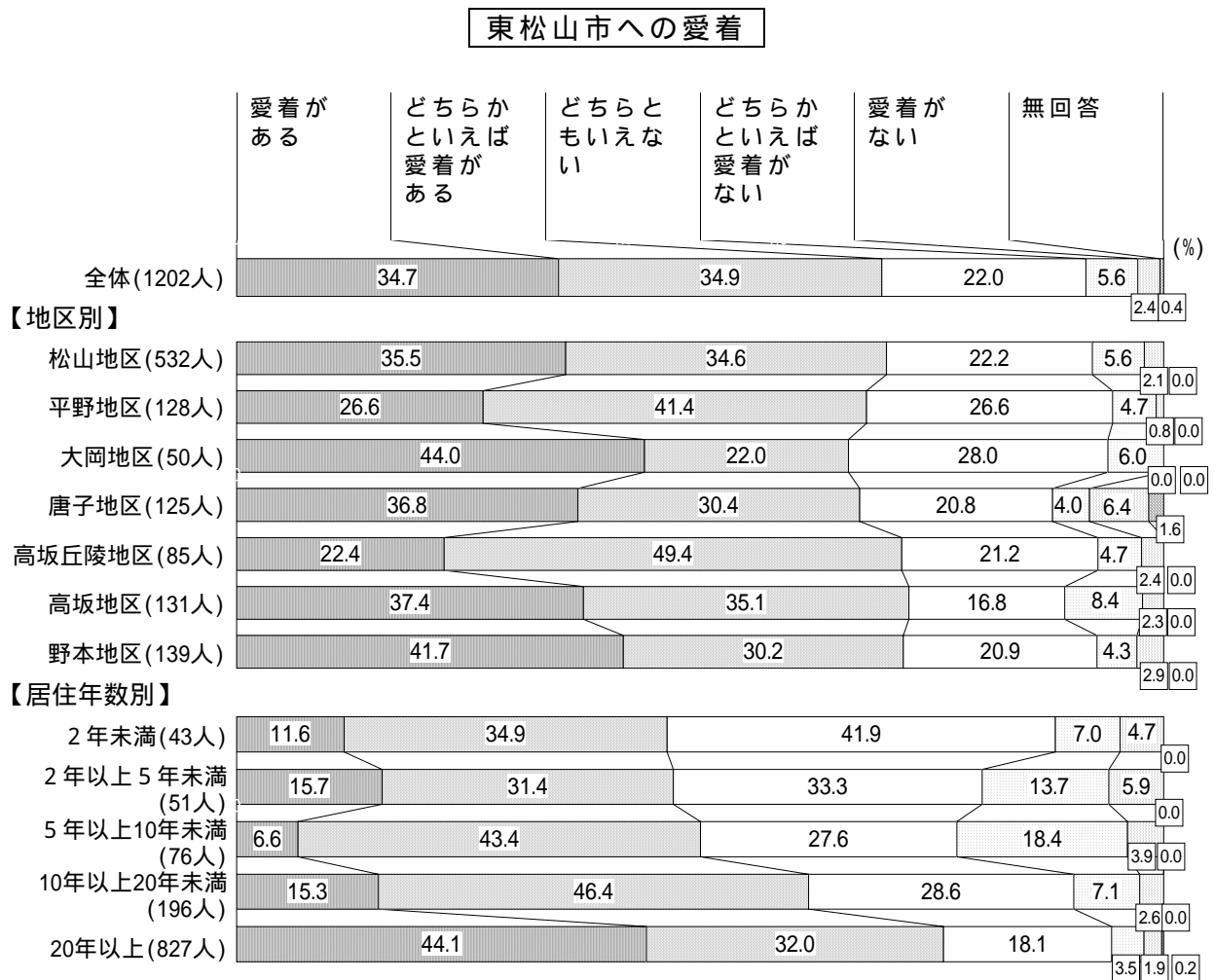
平成14年調査までは、「どちらともいえない」の選択肢はありません。

全体で見ると、「愛着がある」は34.7%、「どちらかといえば愛着がある」は34.9%と高く、両者を合わせた69.6%が“東松山市に愛着を感じている”と回答しています。

年代別で見ると、「愛着がある」と回答している割合は40歳代で24.8%と最も低くなっていますが、高年層に向けて回復し、70歳以上では56.1%と半数を超えています。また、“東松山市に愛着を感じている”の割合では、各年代とも6割以上となっており、70歳以上では79.0%と最も高くなっています。

平成2年度からの調査結果と比較すると、「愛着がある」との回答は年々増加していましたが、今回の調査では34.7%と平成17年度調査に比べて6.4ポイント減少しています。

(平成14年までの調査では、「どちらともいえない」の選択肢はないため、分析については参考程度に留める必要があります。)



地区別でみると、“東松山市に愛着を感じている”は、高坂地区、野本地区、高坂丘陵地区、松山地区で7割台、それ以外の地区では6割台となっています。

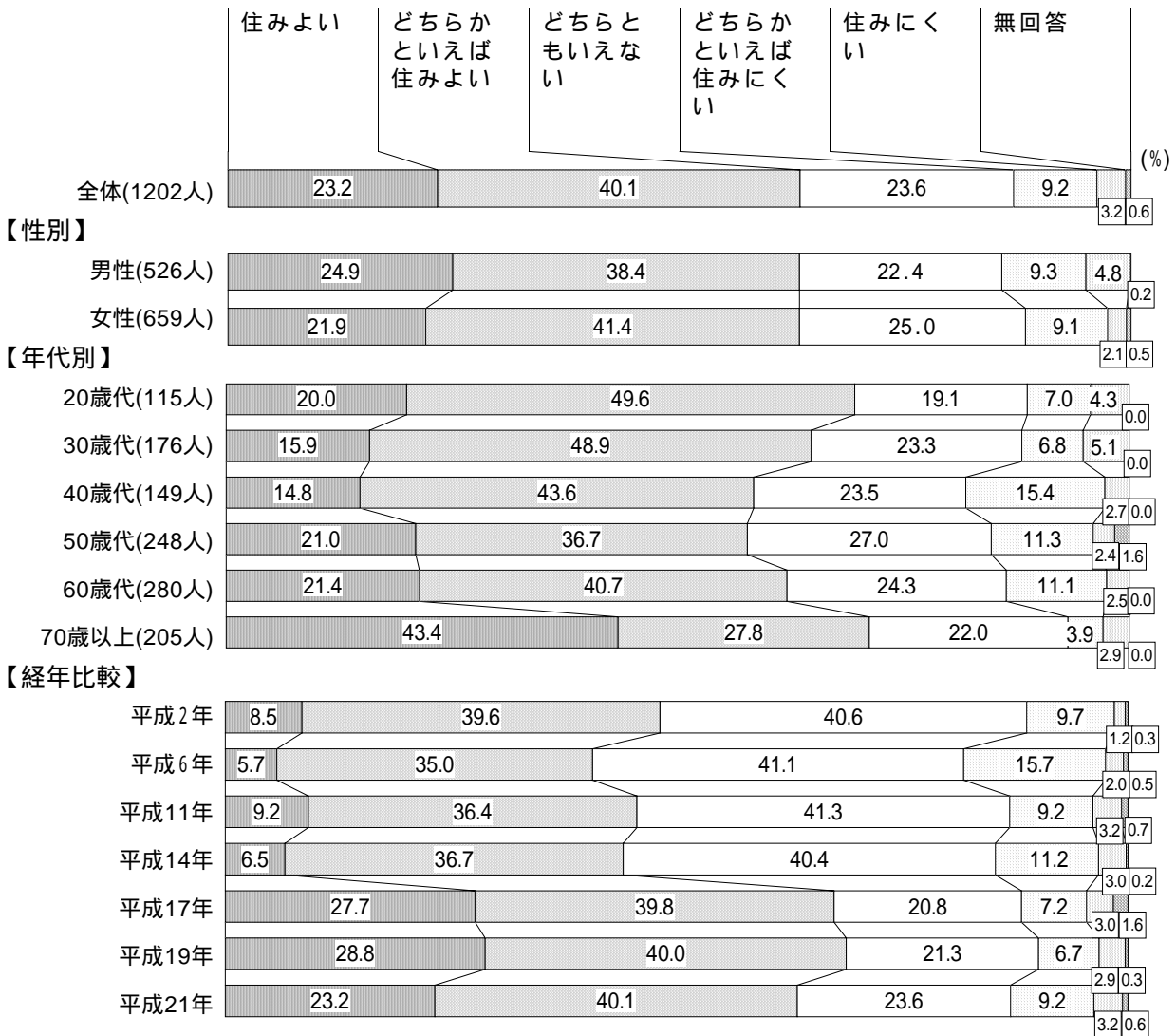
居住年数別でみると、“東松山市に愛着を感じている”は、年数が長くなるほど高く、20年以上では76.1%となっています。

1 - 2 . 東松山市の住みよさ

“住みよいと感じている” 63.3%

問2 . あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を で囲んでください。

東松山市の住みよさ



平成14年までの選択肢：左から「大変住みよい」、「住みよい」、「ふつう」、「あまり住みよいとは思わない」、「住みにくい」

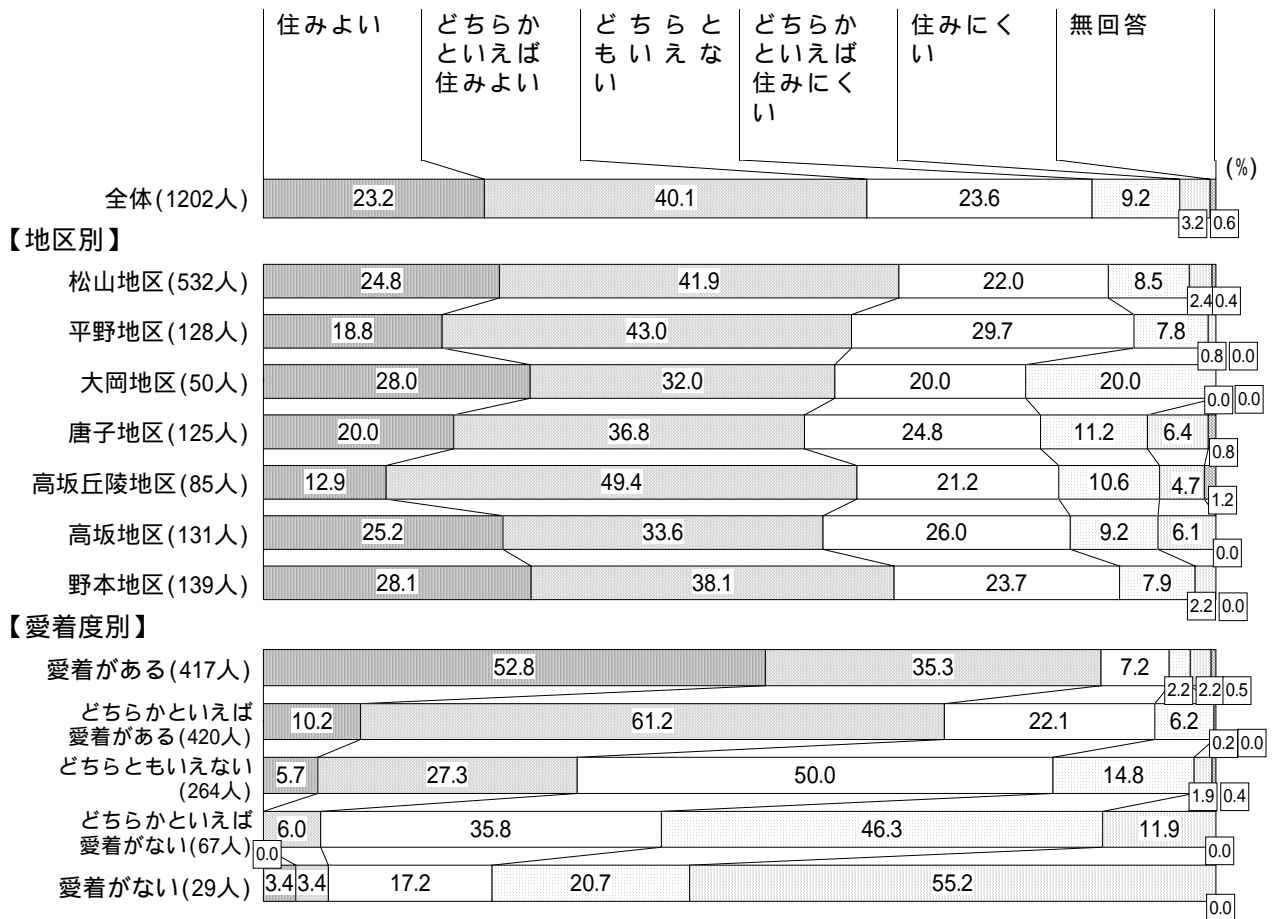
全体で見ると、「住みよい」は23.2%、「どちらかといえば住みよい」は40.1%と高く、両者を合わせた63.3%が“住みよいと感じている”と回答しています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“住みよいと感じている”は、いずれの年代でも半数を超えており、特に70歳以上と20歳代で7割前後と高くなっています。また、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている”と回答した割合は、40歳代で18.1%と他の年代よりやや高くなっています。

平成2年度からの調査結果と比較すると、「住みよい」は前回から5.6ポイント減少しており、選択肢が統一となった平成17年度以降の調査で“住みよいと感じている”は最も低くなっています。

東松山市の住みよさ



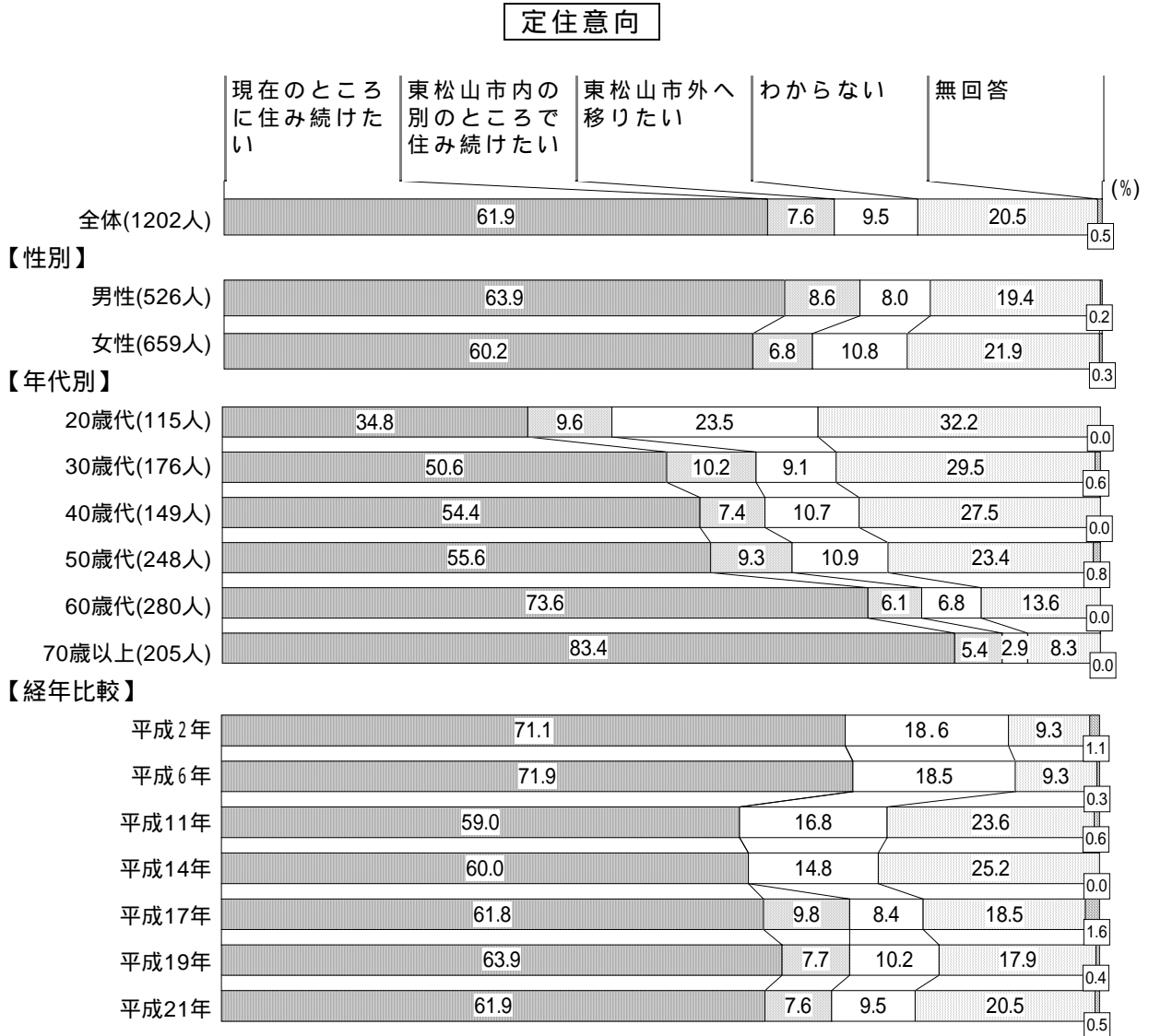
地区別で見ると、“住みよいと感じている”は、松山地区で66.7%、野本地区で66.2%と、他の地区と比べてやや高くなっています。

愛着度別で見ると、愛着度が高いほど「住みよい」とする割合が高く、愛着があるでは52.8%と半数を超えて特に高くなっています。反対に、「住みにくい」は、愛着がないでは55.2%となっています。

1 - 3 . 定住意向

年代が上がるほど定住意向は高くなっている

問3 . あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ
 選び、番号を で囲んでください。



平成14年調査までの選択肢：左から「住み続けたい」、「移転したい」、「考えていない」、「無回答」の順で、「わからない」は選択肢としてありませんでした。

全体で見ると、「現在のところに住み続けたい」は、61.9%と高くなっています。
 年代別で見ると、「現在のところに住み続けたい」は、年代が上がるほど高く、70歳以上で83.4%を占めています。また、年代が下がるほど「わからない」と回答している割合は高く、20歳代で32.2%となっています。
 平成2年度からの調査結果と比較すると、平成11年度以降から平成19年度までは「現在のところに住み続けたい」は、増加傾向が続いていましたが、今回の調査ではやや減少しています。

定住意向



地区別で見ると、「現在のところに住み続けたい」は、高坂丘陵地区で71.8%と7割を超えて高くなっています。

愛着度別で見ると、愛着が高いほど定住意向も高く、「現在のところに住み続けたい」は、愛着があるで86.6%となっています。

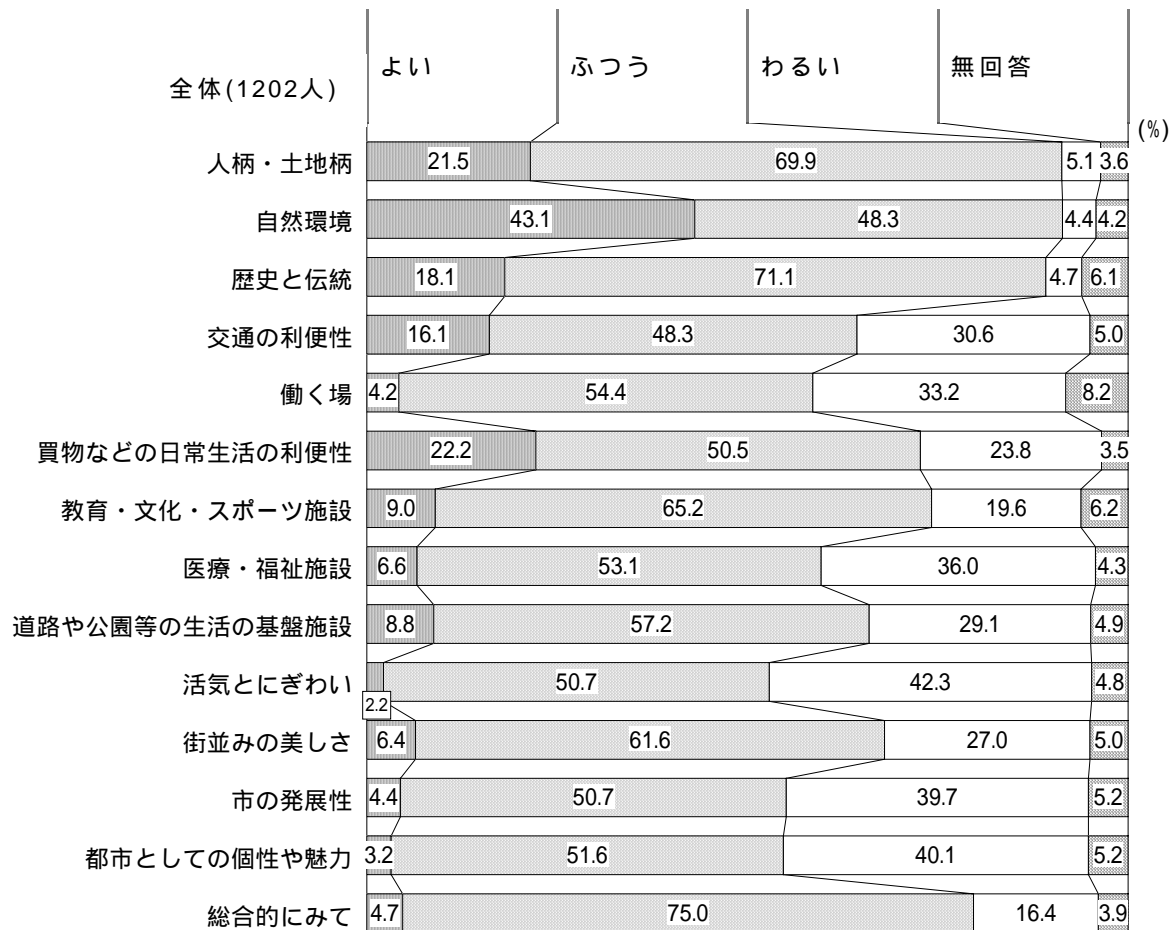
住みよさ別で見ると、住みよさが上がるほど定住意向も高く、「現在のところに住み続けたい」は、住みよいで87.8%となっています。

1 - 4 . 東松山市の印象

自然環境 人柄・土地柄 歴史と伝統 で「よい」が「わるい」を上回る

問4 . あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の(ア)～(セ)について、それぞれ1つ選び、番号を で囲んでください。

東松山市の印象

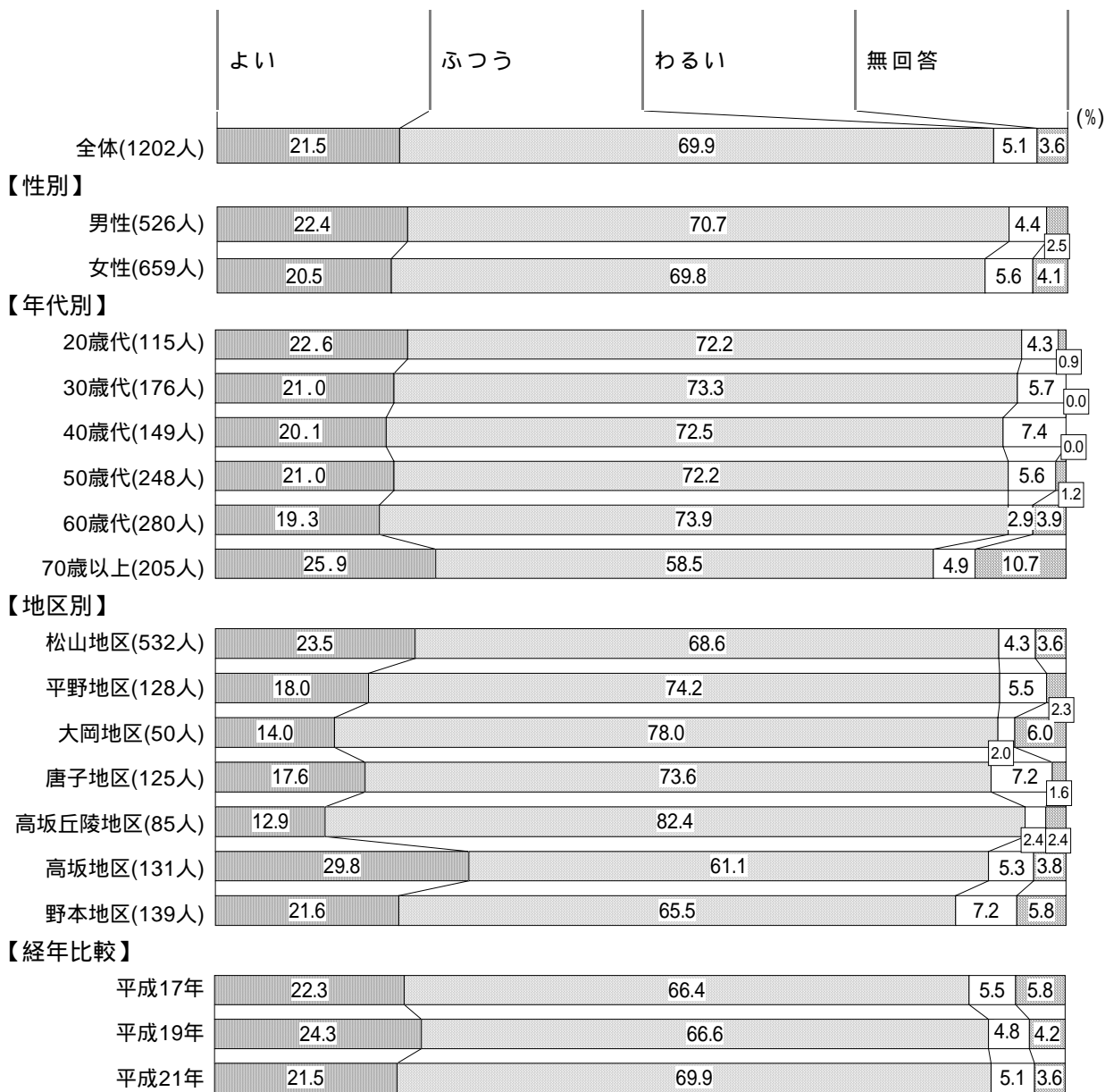


全体の概観

「よい」が「わるい」を上回る項目は、自然環境 人柄・土地柄 歴史と伝統の3項目となっており、それ以外の項目では、「わるい」が「よい」を上回っています。

人柄・土地柄 「よい」21.5%、「わるい」5.1%

人柄・土地柄



全体では、「ふつう」(69.9%)、「よい」(21.5%)、「わるい」(5.1%)となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

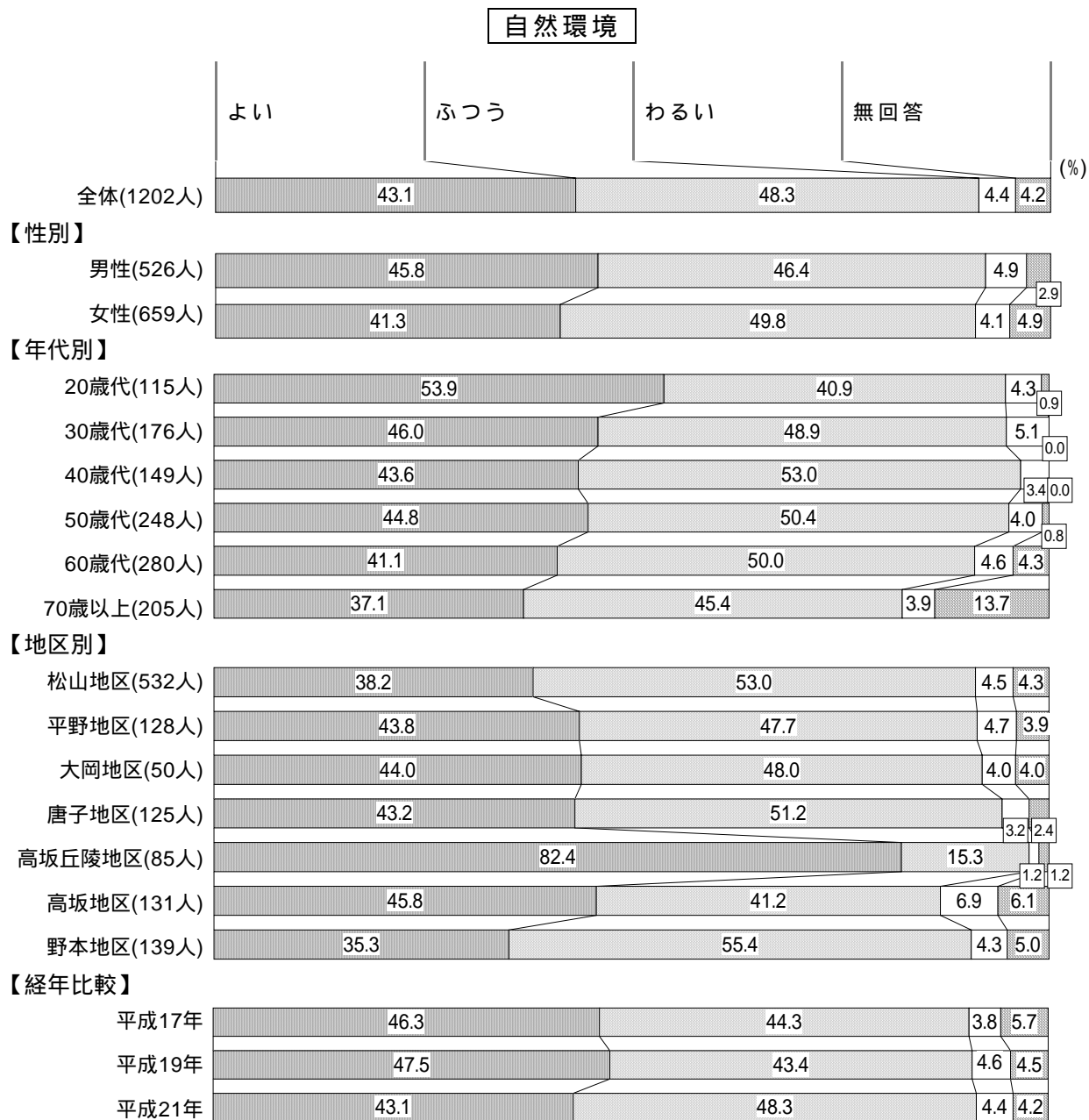
年代別でみると、「よい」は、70歳以上で25.9%とやや高くなっています。

地区別でみると、「よい」は、高坂地区で29.8%とやや高くなっています。

平成17年度からの調査結果との比較では、特に大きな差異はみられません。

自然環境

「よい」43.1%、「わるい」4.4%



全体で見ると、「よい」(43.1%)、「ふつう」(48.3%)、「わるい」(4.4%)となっています。

性別で見ると、「よい」は、男性が女性を4.5ポイント上回っています。

年代別で見ると、「よい」は、20歳代で53.9%と半数を超え高くなっています。

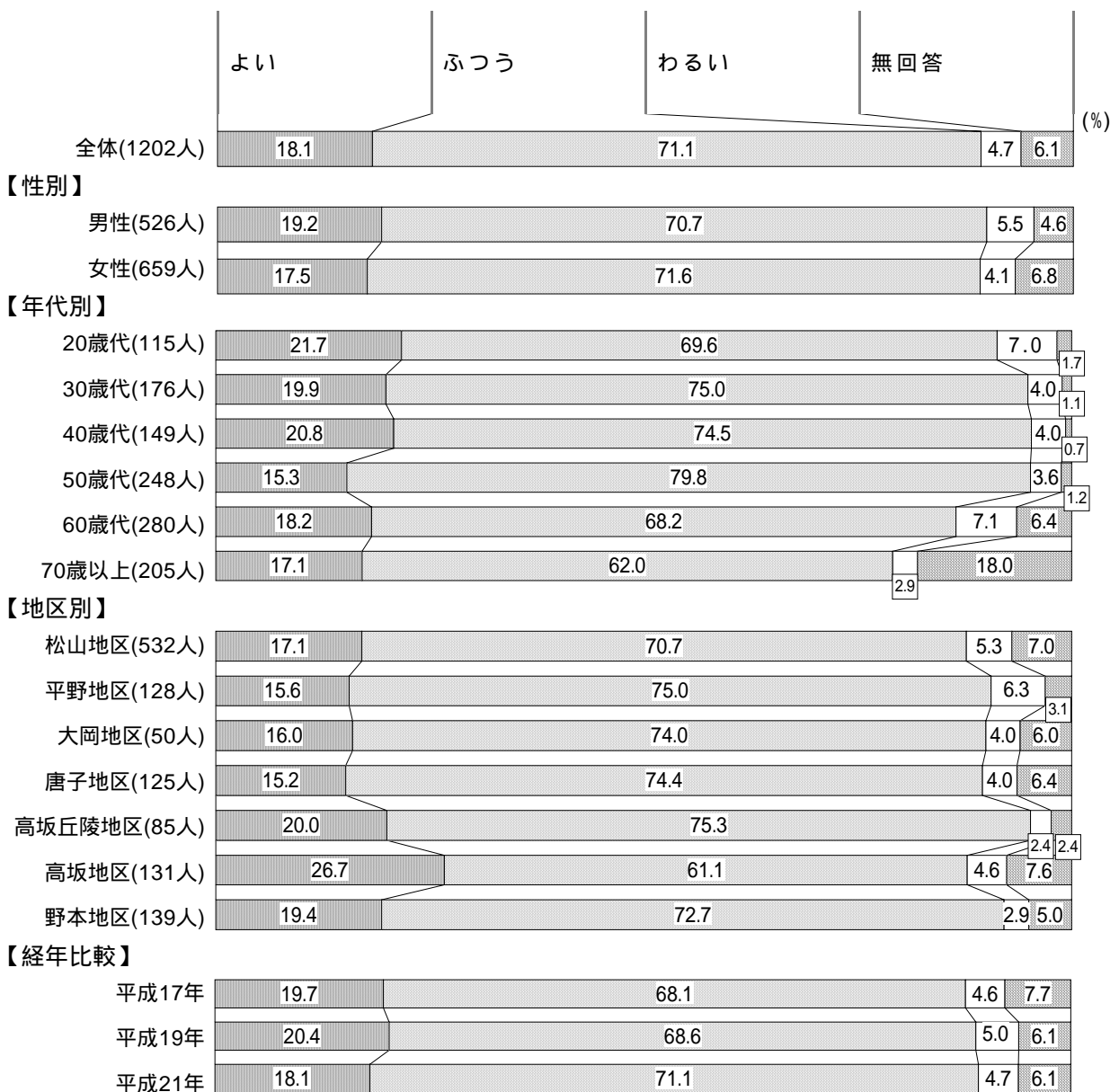
地区別で見ると、「よい」は、高坂丘陵地区で82.4%と特に高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「よい」は、平成19年度に比べてやや減少しています。

歴史と伝統

「よい」18.1%、「わるい」4.7%

歴史と伝統



全体で見ると、「ふつう」(71.1%)、「よい」(18.1%)、「わるい」(4.7%)となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

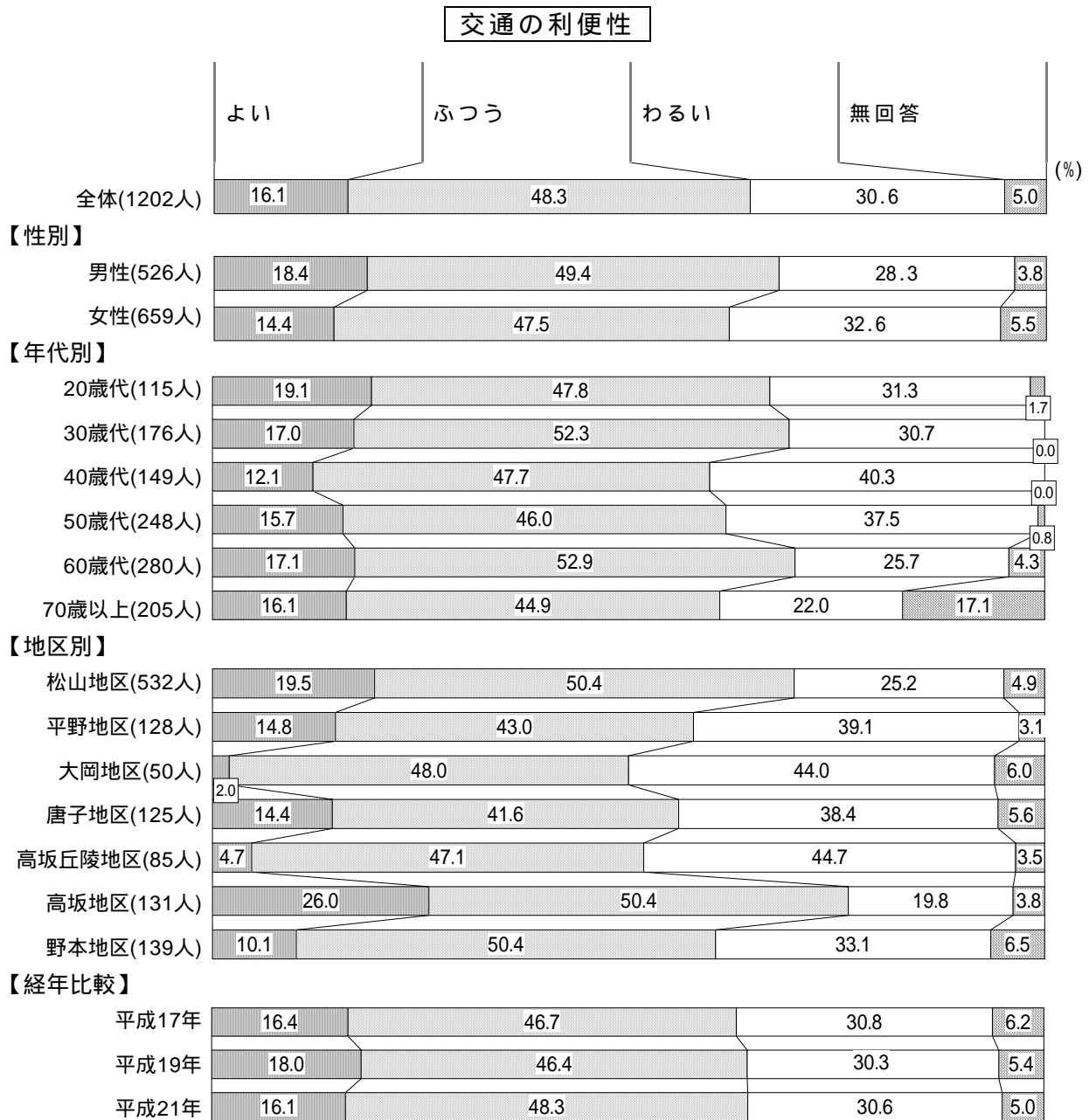
年代別で見ると、30歳代から50歳代で「ふつう」が7割台を占めています。

地区別で見ると、「ふつう」は、高坂地区を除き、いずれの地区でも7割台を占めています。

平成17年度からの調査結果との比較では、特に大きな差異はみられません。

交通の利便性

「よい」16.1%、「わるい」30.6%



全体で見ると、「ふつう」(48.3%)、「わるい」(30.6%)、「よい」(16.1%)となっています。

性別では、「わるい」は、女性(32.6%)が男性(28.3%)を4.3ポイント上回っています。

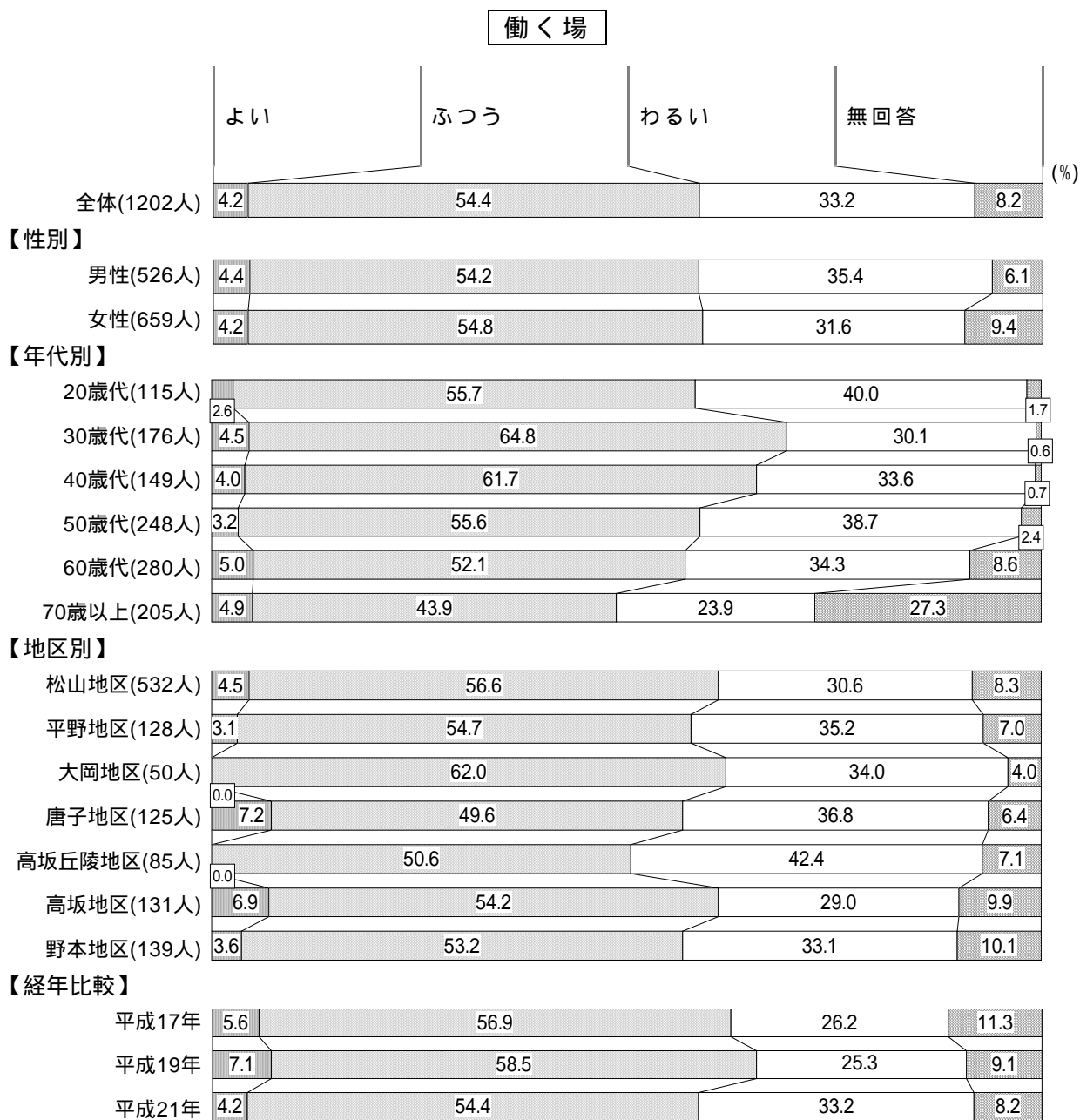
年代別で見ると、「わるい」は、20歳代から50歳代で3割以上となっており、特に40歳代では40.3%と高くなっています。

地区別で見ると、「よい」は、高坂地区で26.0%と高く、松山地区も19.5%と比較的高くなっています。また、高坂丘陵地区(44.7%)、大岡地区(44.0%)では「わるい」が4割台と高くなっています。

平成17年度からの調査結果との比較では、特に大きな差異はみられません。

働く場

「よい」4.2%、「わるい」33.2%



全体で見ると、「ふつう」(54.4%)、「わるい」(33.2%)、「よい」(4.2%)となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

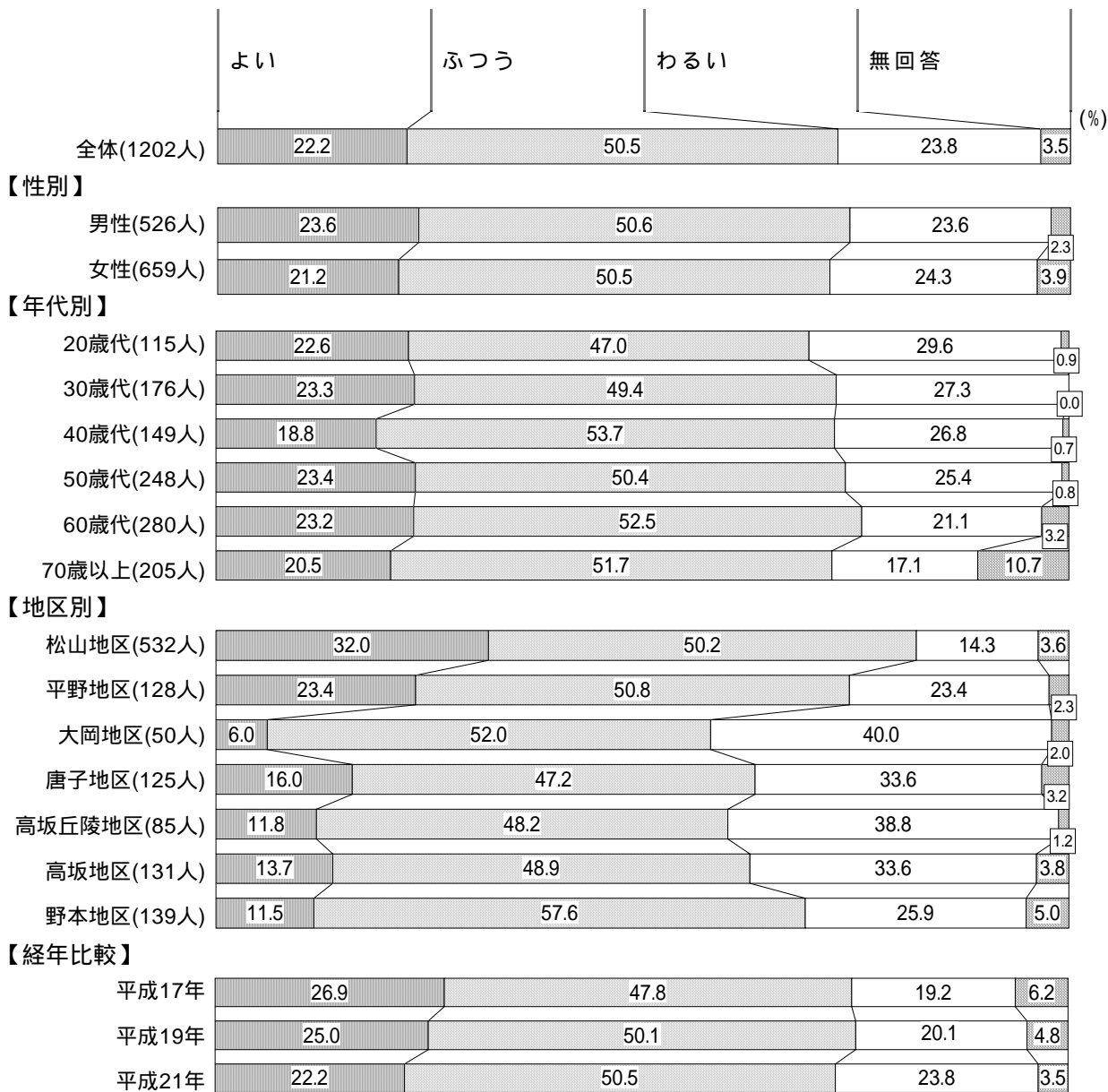
年代別で見ると、「ふつう」は、30歳代で64.8%、40歳代で61.7%と高くなっています。また、「わるい」は、20歳代で40.0%と高くなっています。

地区別で見ると、「わるい」は、高坂丘陵地区で42.4%と高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「よい」は、平成19年度に比べ2.9ポイント減少し、「わるい」は、7.9ポイント増加しています。

買い物などの日常生活の利便性 「よい」22.2%、「わるい」23.8%

買い物などの日常生活の利便性



全体で見ると、「ふつう」(50.5%)、「わるい」(23.8%)、「よい」(22.2%)となっています。

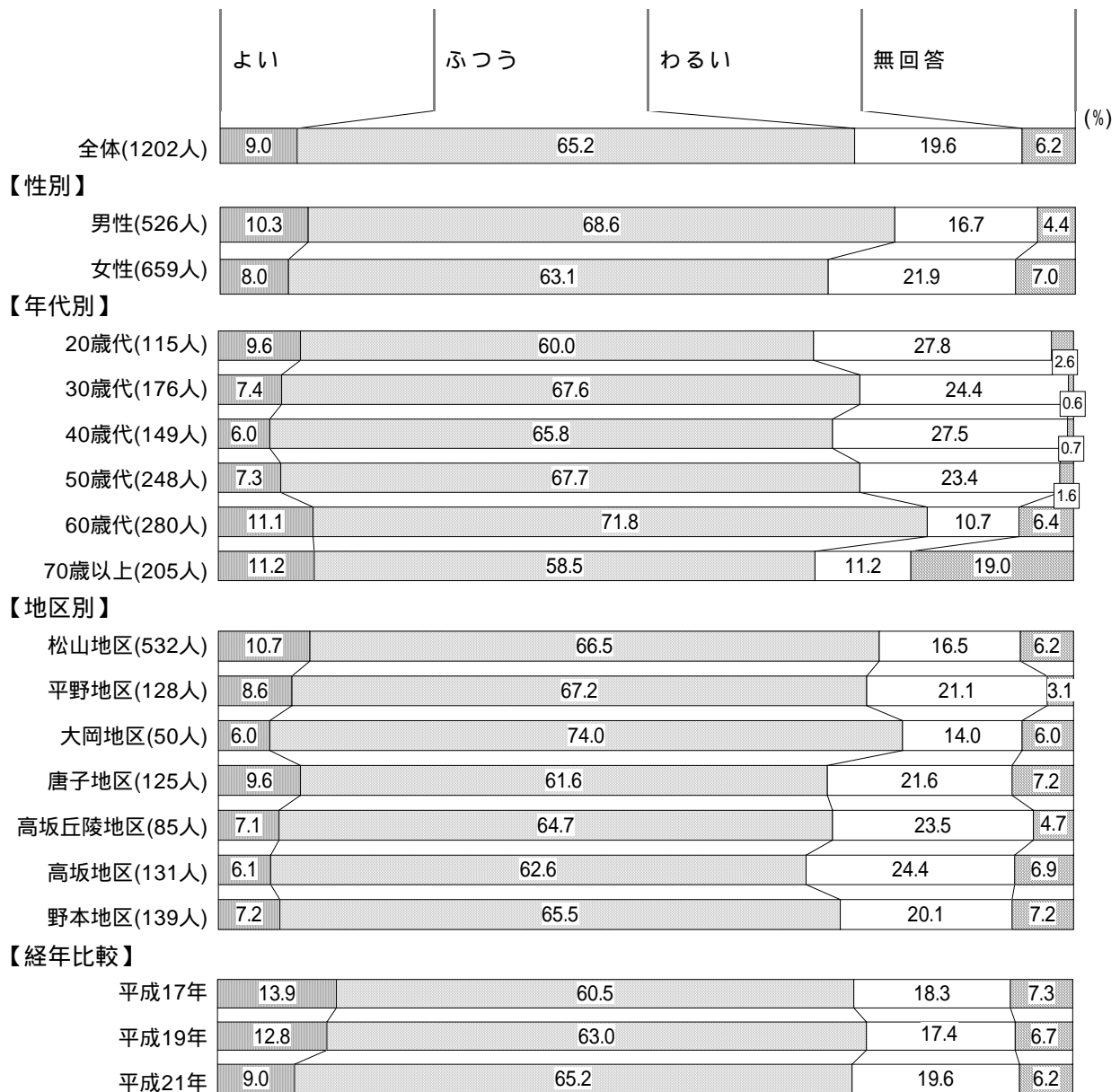
性別では、特に大きな差異はみられません。

年代別で見ると、「わるい」は、20歳代で29.6%と他の年代よりやや高くなっています。

地区別で見ると、「よい」は、松山地区で32.0%と高くなっています。また、「わるい」は、大岡地区(40.0%)、高坂丘陵地区(38.8%)で高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「よい」は減少傾向、「わるい」は増加傾向となっています。

教育・文化・スポーツ施設



全体で見ると、「ふつう」(65.2%)、「わるい」(19.6%)、「よい」(9.0%)となっています。

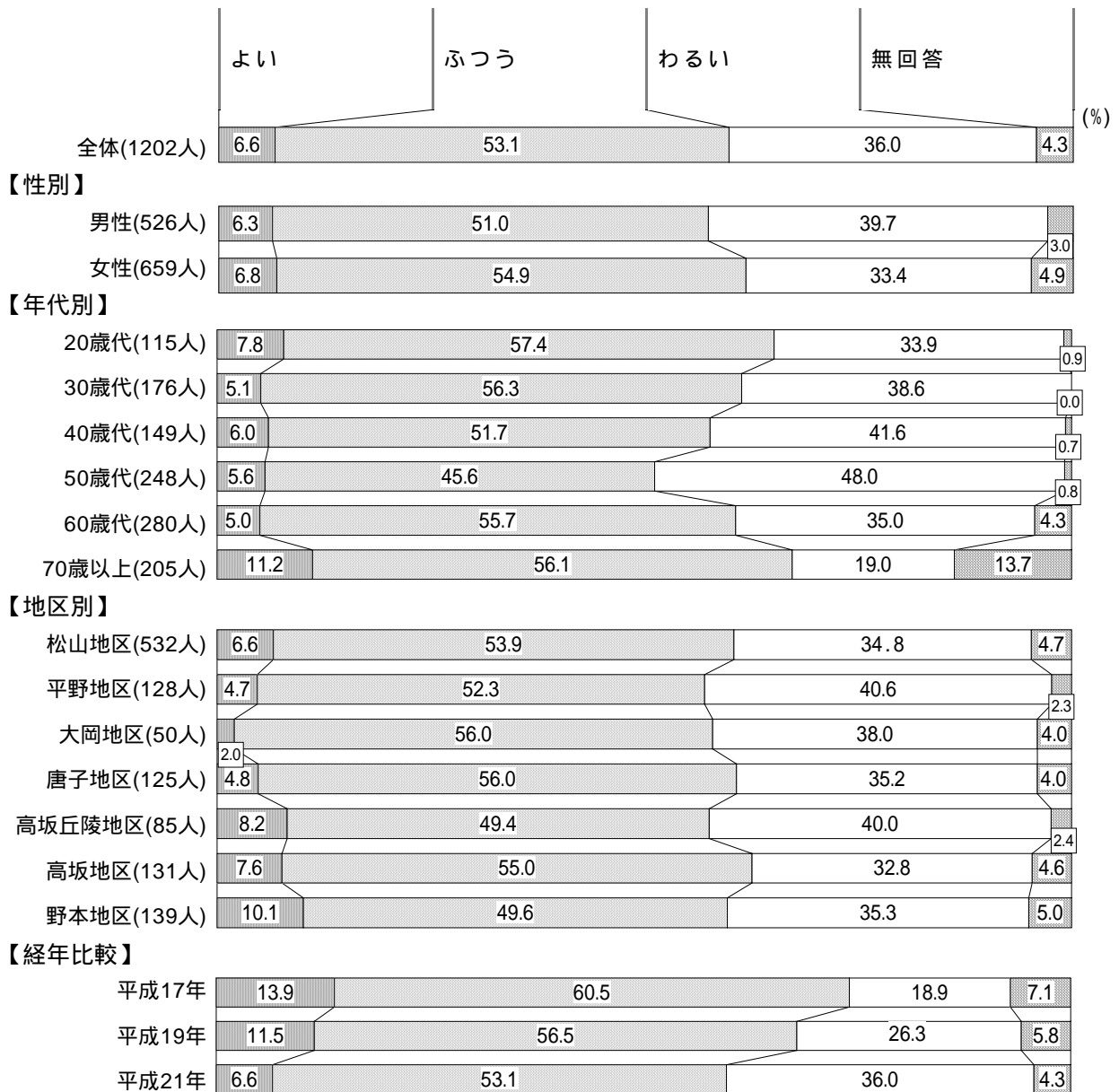
性別で見ると、「わるい」は、女性が男性を5.2ポイント上回っています。

年代別で見ると、「わるい」は、20歳代から50歳代で2割台となっています。

地区別で見ると、「わるい」は、松山地区と大岡地区を除き、2割台となっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「よい」は、減少傾向となっています。

医療・福祉施設



全体で見ると、「ふつう」(53.1%)、「わるい」(36.0%)、「よい」(6.6%)となっています。

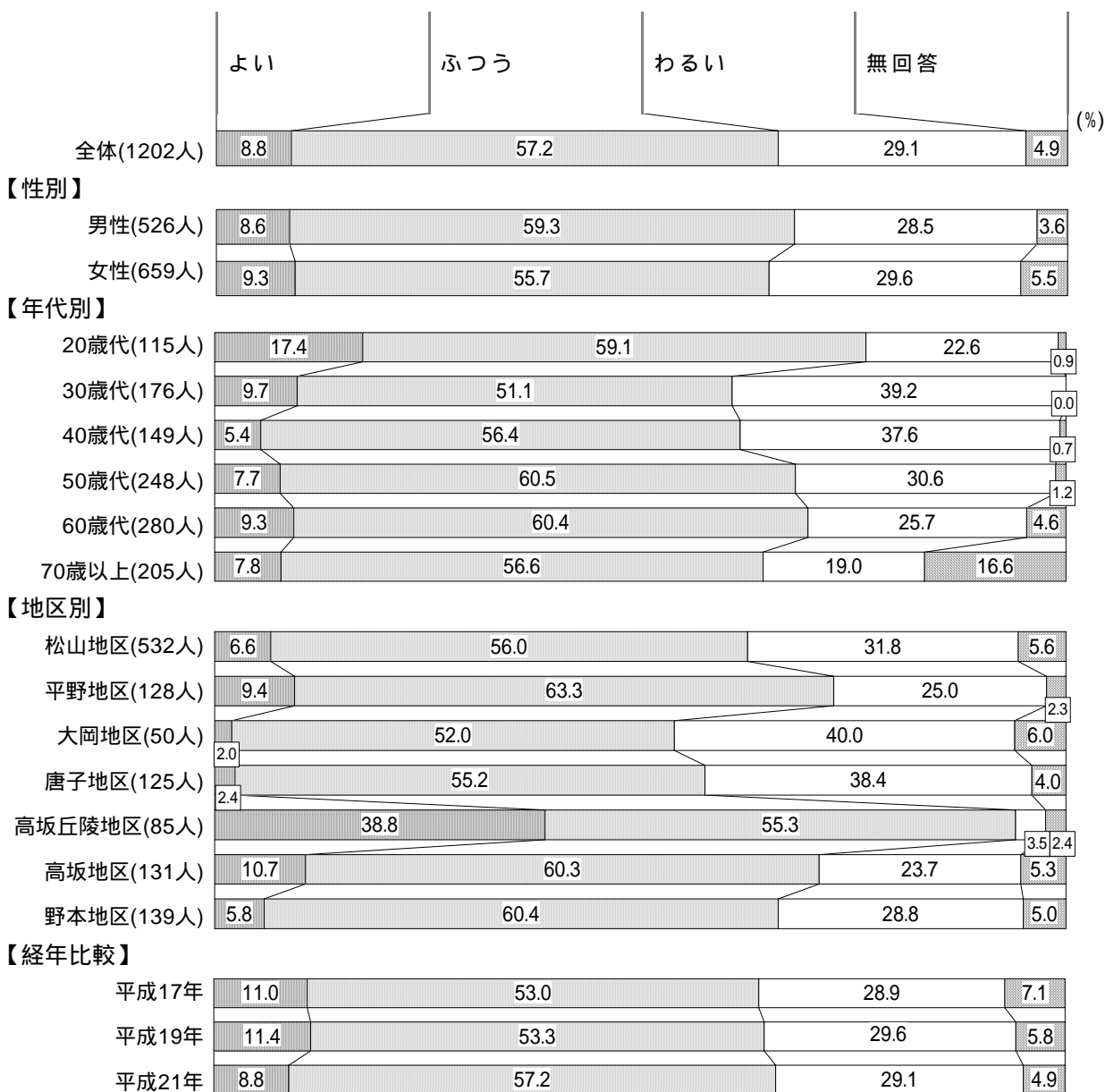
性別で見ると、「わるい」は、男性が女性を6.3ポイント上回っています。

年代別で見ると、「よい」は、70歳以上で11.2%となっていますが、それ以外の年代では割合が低くなっています。「わるい」は50歳代では48.0%と特に高くなっています。

地区別で見ると、「わるい」は、平野地区(40.6%)、高坂丘陵地区(40.0%)で4割台と高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「よい」、「ふつう」が減少傾向、「わるい」が増加傾向となっており、「わるい」は、前回の調査より9.7ポイント増加しています。

道路や公園等の生活の基盤施設



全体で見ると、「ふつう」(57.2%)、「わるい」(29.1%)、「よい」(8.8%)となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

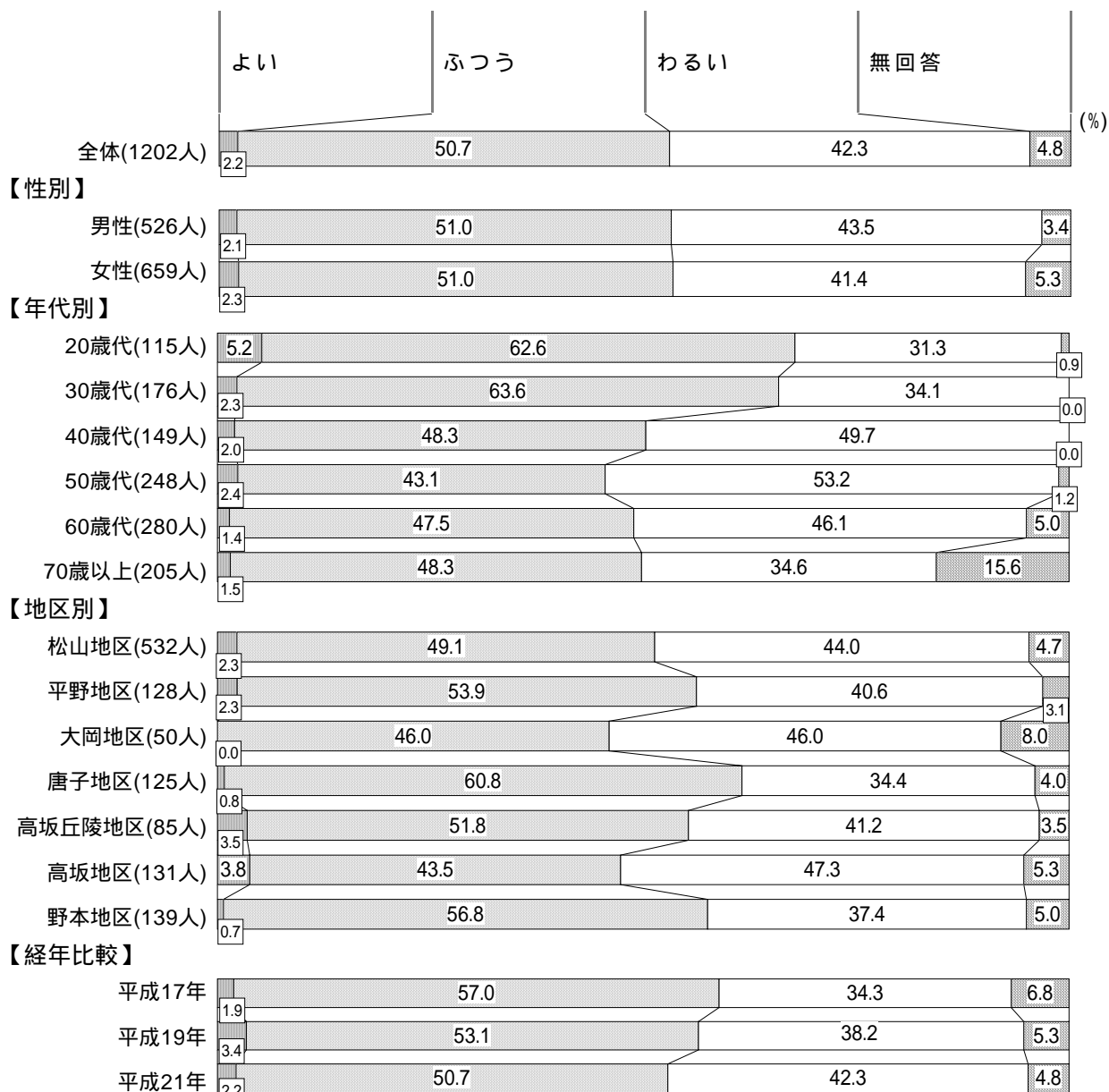
年代別で見ると、「わるい」は、30歳代から50歳代で3割台と高くなっています。

地区別で見ると、「よい」は、高坂丘陵地区で38.8%と特に高くなっています。

平成17年度からの調査結果との比較では、特に大きな差異はみられません。

活気とにぎわい 「よい」2.2%、「わるい」42.3%

活気とにぎわい



全体で見ると、「ふつう」(50.7%)、「わるい」(42.3%)、「よい」(2.2%)となっています。

性別で見ると、特に大きな差異はみられません。

年代別で見ると、「わるい」は、50歳代で53.2%と半数を超え、その前後の40・60歳代でも4割台と高くなっています。

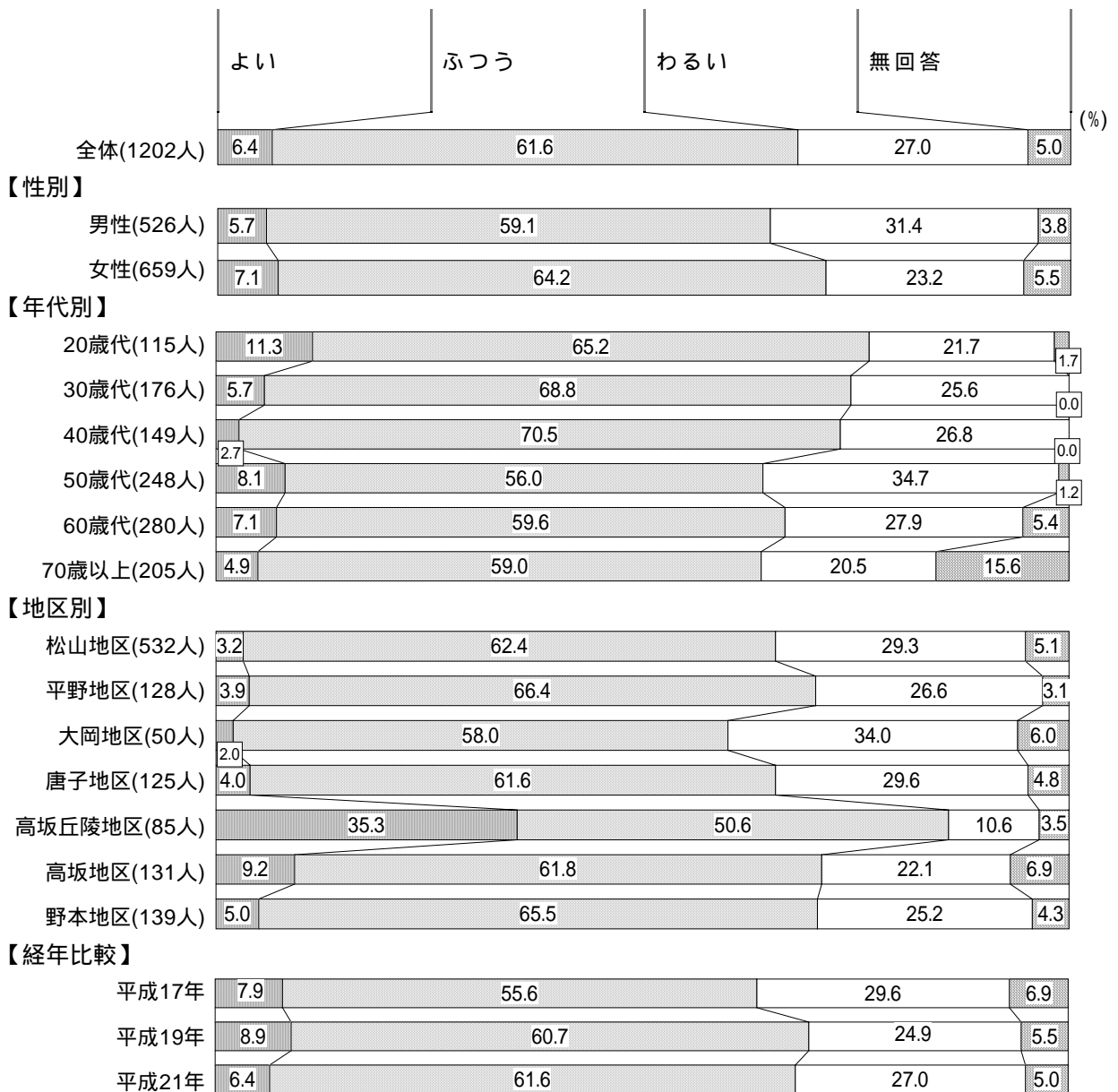
地区別で見ると、「わるい」は、野本地区、唐子地区を除きいずれも4割台となっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「わるい」は、増加傾向となっており、前回の調査より4.1ポイント増加しています。

街並みの美しさ

「よい」6.4%、「わるい」27.0%

街並みの美しさ



全体で見ると、「ふつう」(61.6%)、「わるい」(27.0%)、「よい」(6.4%)となっています。

性別で見ると、「わるい」は、男性が女性を8.2ポイント上回っています。

年代別で見ると、「わるい」は、50歳代で34.7%と高くなっています。

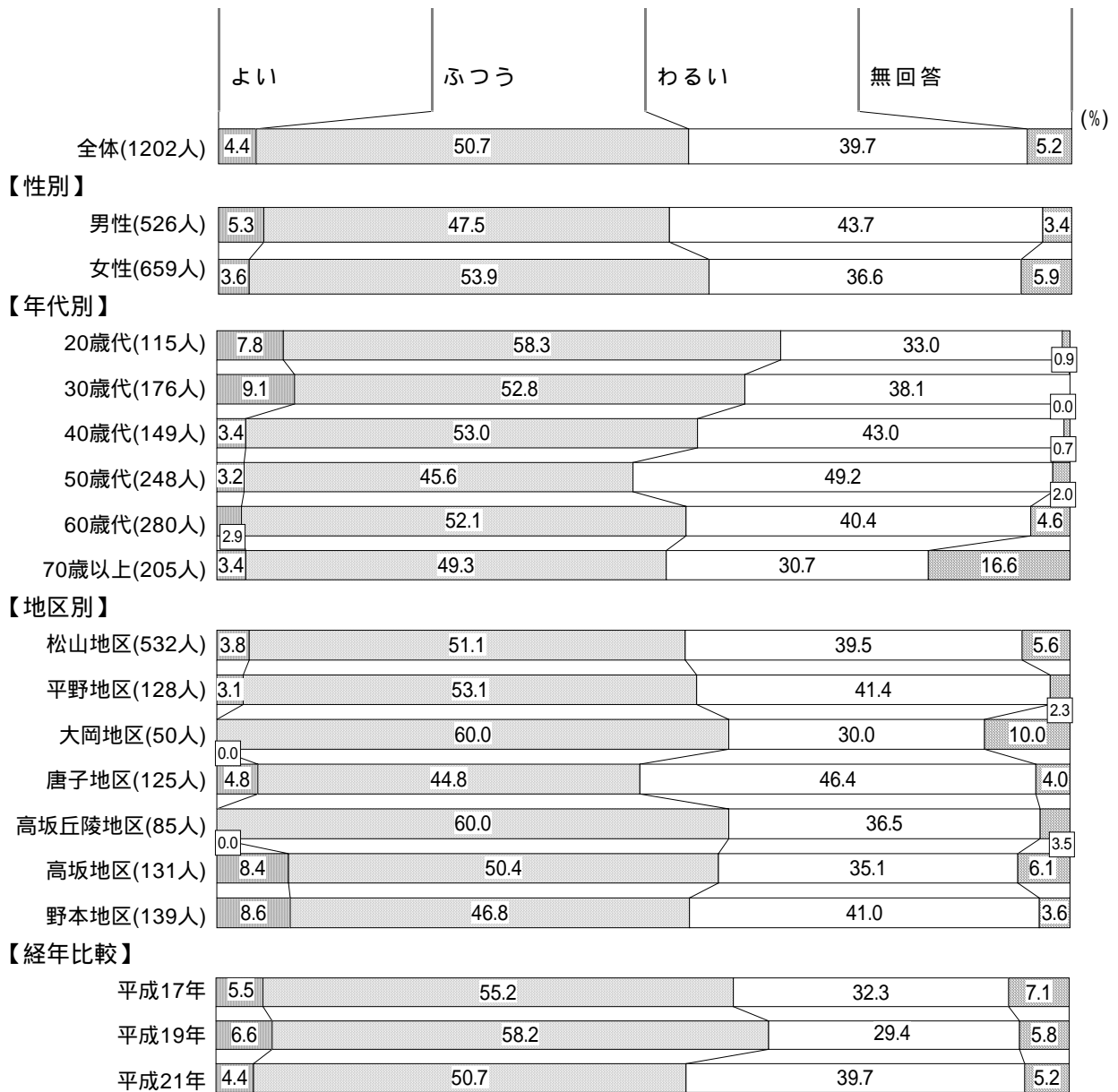
地区別で見ると、「よい」は、高坂丘陵地区で35.3%と特に高く、「わるい」は、大岡地区(34.0%)と高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、大きな差異はみられませんが、平成19年度に比べて「よい」はやや減少しています。

市の発展性

「よい」4.4%、「わるい」39.7%

市の発展性



全体で見ると、「ふつう」(50.7%)、「わるい」(39.7%)、「よい」(4.4%)となっています。

性別で見ると、「わるい」は、男性が女性を7.1ポイント上回っています。

年代別で見ると、「わるい」は、40歳代から60歳代で4割台と高く、特に50歳代では49.2%となっています。

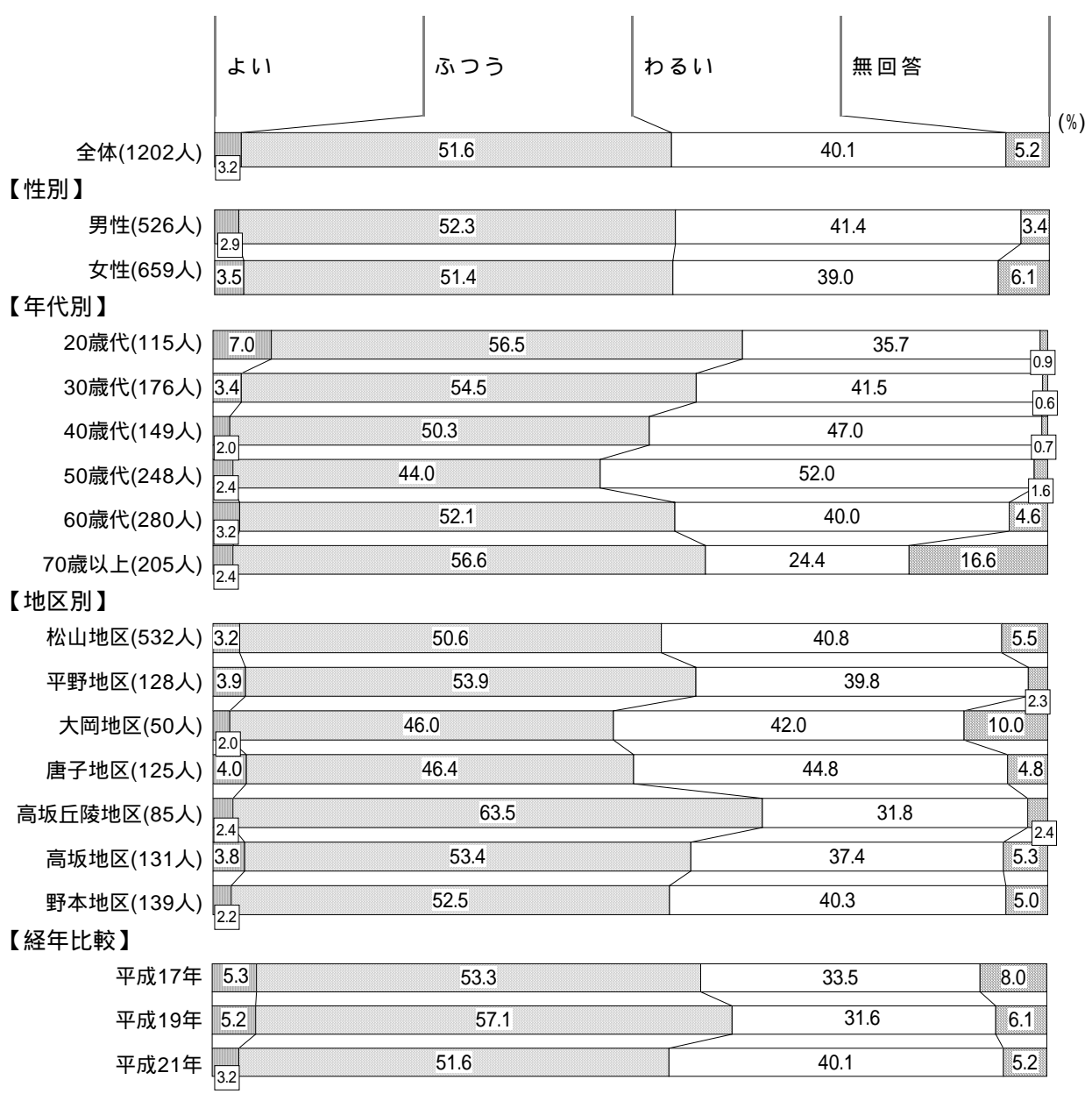
地区別で見ると、「わるい」は、唐子地区(46.4%)、平野地区(41.4%)、野本地区(41.0%)が4割台と高くなっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「わるい」は、平成19年度に比べて10.3ポイント増加し、「ふつう」は、7.5ポイント減少しています。

都市としての個性や魅力

「よい」3.2%、「わるい」40.1%

都市としての個性や魅力



全体で見ると、「ふつう」(51.6%)、「わるい」(40.1%)、「よい」(3.2%)となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

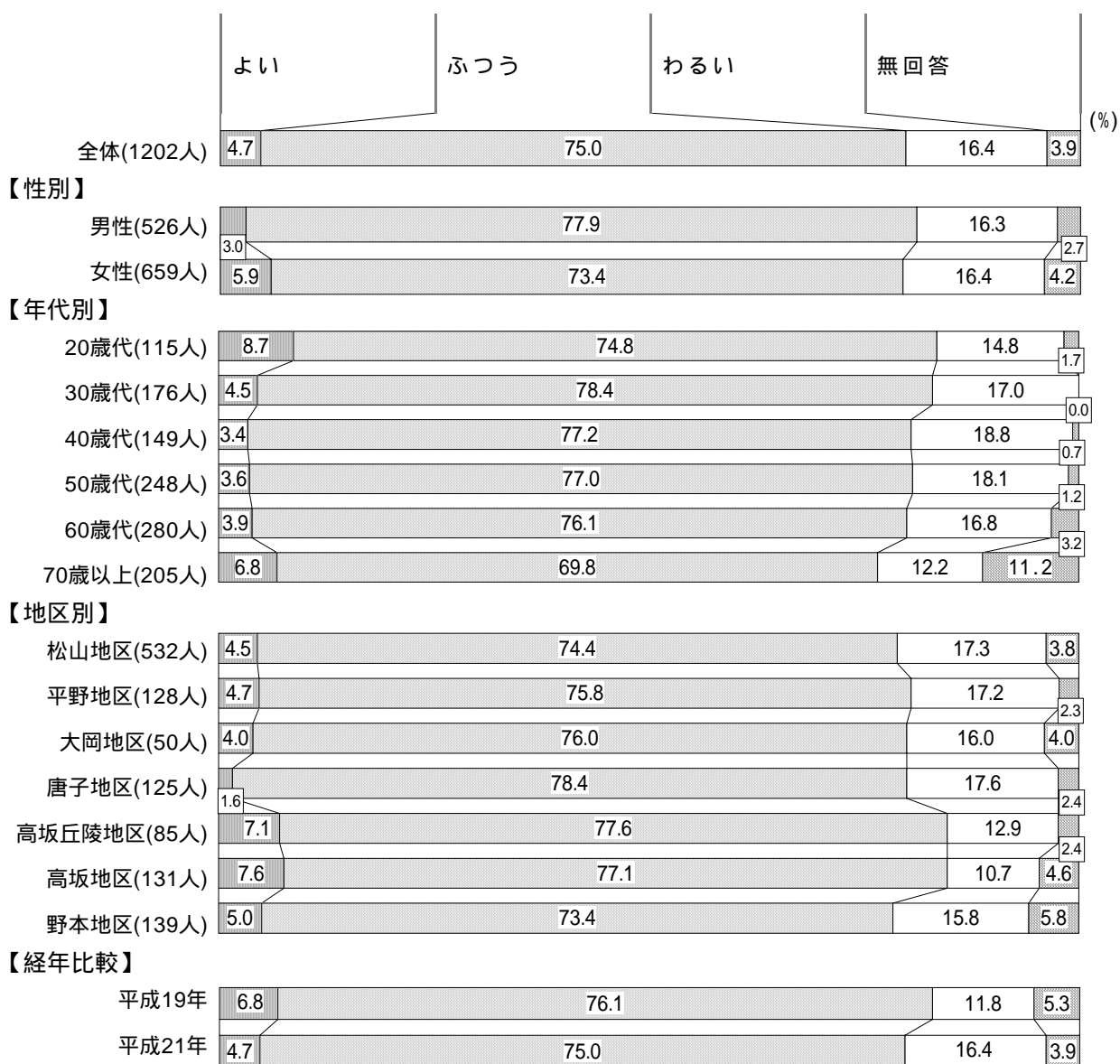
年代別で見ると、「わるい」は、50歳代で52.0%と高くなっています。

地区別では、「わるい」は、唐子地区(44.8%)、大岡地区(42.0%)、松山地区(40.8%)、野本地区(40.3%)で4割台となっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、「わるい」は、平成19年度に比べて8.5ポイント増加しています。

総合的にみて 「よい」4.7%、「わるい」16.4%

総合的にみて



平成17年度の調査ではこの項目はありません。

全体で見ると、「ふつう」(75.0%)、「わるい」(16.4%)、「よい」(4.7%)となっています。

性別では、「よい」は、女性(5.9%)が男性(3.0%)をやや上回っています。

年代別、地区別で見ると、「わるい」は、いずれの年代・地区でも1割台、「よい」はいずれの年代・地区でも1割以下と低くなっています。

平成19年度からの調査結果と比較すると、「わるい」は、4.6ポイント増加しています。